（第3種郵便物認可） 2024年(令和6年)12月16日 月曜日 デイリースポーツ 10版 有馬記念 10

有馬記念 HERO すごろく

キタサンブラック デイリー

スポーツ紙・夕刊紙による9紙合同企画では有馬記念を優勝したHEROたちの誕生から引退までをすごろく形式で振り返る「有馬記念HEROすごろく」を各紙それぞれで特集します（日刊スポーツ：ジェンティルドンナ、スポーツニッポン：オグリキャップ、スポーツ報知：リスグラシュー、サンケイスポーツ：ディープインパクト、デイリースポーツ：キタサンブラック、東京中日スポーツ：ゴールドシップ、東京スポーツ：オルフェーヴル、夕刊フジ：イクイノックス、日刊ゲンダイ：ダイワスカーレット）どうぞ、お楽しみください。

START

①記録にも記憶にも残る名馬キタサンブラックの足跡をたどって有馬記念への気持ちを高めよう！

②キタサンブラック誕生
2012年3月10日、北海道日高町で父ブラックタイド、母シュガーハートの間に誕生。

③オーナーとの出会い
歌手・北島三郎が親交のあるヤナガワ牧場・梁川正克氏から紹介された1頭。第一印象「脚の長い馬」。350万円で購入。

④馬名決定
馬名は冠名＋父名でキタサンブラックに決定。総画数は縁起が良くて、北島オーナーが好んだ「21」画。

⑤本州へ移動
14年11月に京都府の宇治田原優駿ステーブルへ。牧場では「ブラック」と呼ばれてかわいがられる。

⑥入厩
14年12月17日に栗東・清水久調厩舎に初入厩。朝日杯FSの4日前。翌18日には早速坂路入り。

⑦盟友たちとの出会い
担当は辻田義幸厩務員に決定。追い切りなど調教には、障害を中心に騎乗する黒岩悠騎手が携わることに。

⑧デビュー戦
15年1月31日、東京芝1800メートル戦で差して新馬勝ち。「細い馬体ガ立派になっていて驚いた」と北島オーナー。

⑨その後2連勝
2月の3歳500万下（現1勝クラス）を2番手から快勝。2着サトノラーゼンなど好メンバーを退けた。

⑩重賞初制覇
3月のスプリングSを4角先頭で押し切って3連勝。2着リアルスティール、3着ダノンプラチナを撃破。父子制覇達成。 2マス進む

⑪クラシック登録
本格化に時間がかかると見送ったが、追加登録料200万円を支払いクラシック登録。「GⅠも狙える」と北島オーナー。

⑫GⅠ初挑戦
皐月賞は浜中俊騎手と臨む。2番手で運ぶもドゥラメンテ、リアルスティールに差されて3着。

⑬競馬の祭典へ
北村宏司騎手とのコンビでダービーへ。直線半ばで先頭をうかがうもハイペースに巻き込まれて14着。キャリア初の2桁着順。 1回休み

⑭復活の重賞2勝目
関東への遠征競馬で結果を出していたことからセントライト記念で始動。好位からの横綱相撲で完勝。

⑮待望のGⅠ初制覇
5番人気で臨んだクラシック最終戦・菊花賞。中団馬群から鮮やかに抜け出し、リアルスティールと首差の接戦を制した。 3マス進む

⑯クラシック初V
ヤナガワ牧場&北村宏騎手とともにクラシック初制覇。戦前は距離不安説がささやかれたが、「信じて乗りました」と鞍上。 サイコロをもう1回振る

⑰サブちゃん初熱唱
北島オーナーも馬主としてGⅠ初V。「勝ったら歌う」との宣言通り「まつり」を披露。ファンへの感謝を歌に乗せた。

⑱初の一夜明け取材
GⅠ初制覇の一夜明け取材。清水久調教師は「起きてすぐビデオを見ました」と夢でないことを再確認。周囲を笑わせる。

⑲グランプリ初参戦
9万3925票でファン投票3位の支持を集め、グランプリに初参戦。投票1位はゴールドシップ、2位はラブリーデイ。

⑳初の古馬との激闘
横山典弘騎手でグランプリ参戦。自身初の逃げでゴールドアクター、サウンズオブアースの3着に。

㉑負けたけど…
応援してくれたファンに感激し、北島オーナーが自ら申し入れて熱唱。「これが有馬のまつり～だよ～♪」

㉒名手との新コンビ
武豊騎手で大阪杯へ。アンビシャスに首差敗れて2着惜敗も以降は引退までコンビ継続。

㉓伝説の死闘
2番人気で臨んだ天皇賞・春は逃げてカレンミロティックとの死闘に。一度は差されたものの差し返して鼻差V。 2マス進む

㉔歌っちゃった
「競馬は馬と騎手が主役。今回は歌わない」と宣言した北島オーナーが8万人の観客の「まつり」コールに喜び熱唱。

㉕宝塚記念ファン投票1位
16年6月9日、宝塚記念のファン投票で8万2121票を集めて自身初の1位に。2位はラブリーデイ。

㉖難敵に惜敗
稍重の宝塚記念は前半1000メートルを59秒1で快調に逃げ、よく粘ったもののマリアライト、ドゥラメンテの3着に。

㉗初!?の1番人気
京都大賞典で始動。GⅠ・2勝馬ながらキャリア12戦目で初の1番人気に。2着アドマイヤデウスとの首差の接戦をV。

㉘世界相手に堂々と
初参戦となったジャパンCで1番人気の支持を集めて堂々と逃げ切りV。GⅠでは最大着差となる2馬身半差で快勝。 2マス進む

㉙世界に美声響かせる
北島オーナーは、世界のホースマンが注目する一戦でも「まつり」を熱唱。ファンや国内外の関係者の手拍子に乗せて美声を響かせた。

㉚有馬記念もファン投票1位
13万7353票を集めて有馬記念のファン投票で初の1位に。2位はその年の菊花賞を制したサトノダイヤモンド。

㉛神ってる？引きの強さ
枠順公開抽選会で13番目登場の武豊騎手が❶枠①番ゲット。清水久調教師「鳥肌」。当時の流行語「神ってる」と話題に。

㉜2度目の有馬は2着
2番手で運んで抜け出したが、最後は3歳馬サトノダイヤモンドに差されて2着。武豊騎手「全部勝つのは難しい」。 1回休み

㉝弟子とともに熱唱
「負けても歌う」の宣言通り、北島オーナーは歌手の北山たけし、大江裕を従え「これが有馬のまつり～だよ～♪」と熱唱。

㉞海外遠征プラン
「この馬に合う舞台となると自然とドバイやフランスが出てきます」と清水久調教師。凱旋門賞挑戦の夢ロテテが浮上。

㉟坂路3本乗り
17年3月4日、放牧先から帰厩後に坂路3本乗りを開始。清水久調教師「この馬なら耐えられる。もっと鍛えられる」。

㊱自身初の年度代表馬
17年1月、291票中134票を獲得。モーリス（90票）、サトノダイヤモンド（66票）を退け栄冠に輝く。

㊲GⅠ昇格元年V
春は国内専念が決まり、GⅠになったばかりの大阪杯に。昨年2着のリベンジを果たし、新装レースの"初代王者"に。

㊳勝っても歌わず
北島オーナーは宣言通り「まつり」は歌わず。「この興奮は何度あってもいいですね」と喜びをかみしめる。

㊴再戦決定
天皇賞・春の登録馬が発表され、有馬記念で敗れたサトノダイヤモンドとの再戦が決定。武豊騎手「盛り上がると思う」。

㊵2強ムード
天皇賞・春はキタサンブラックが2.2倍の1番人気、サトノダイヤモンドが2.5倍の2番人気。3番人気はシャケトラの9.9倍。 サイコロをもう1回振る

㊶史上4頭目の春盾連覇
好位抜け出しでディープインパクトの記録を0秒9上回る3分12秒5のJRAレコードV。史上4頭目となる連覇達成。

㊷凱旋門賞1次登録
天皇賞・春連覇翌日の5月1日、凱旋門賞に1次登録することを発表。「宝塚を終え、状態を見極めて」と清水久調教師。

㊸2年連続ファン投票1位
6月9日に宝塚記念のファン投票最終結果が発表。10万1621票を獲得し、2年連続の1位に。

㊹圧倒的1番人気に
キャリア20戦で最も人気を集める単勝1.4倍の圧倒的1番人気に。2番人気はシャケトラの8.5倍。

㊺自身2度目の掲示板外
好位で運んだもののダービー以来となる馬券圏外に敗れる9着。武豊騎手「正直よく分からない。こんなの初めて」。 3マス戻る

㊻凱旋門賞挑戦断念
北島オーナーが「夏は休みたい」と凱旋門賞挑戦断念を表明。「秋にまた期待してもらいたい」とファンにメッセージ。 1回休み

㊼年内引退を正式発表
10月20日に年内引退と社台SSでの種牡馬入りを発表。種牡馬としてはのちに、イクイノックスなど活躍馬を輩出。

㊽秋は古馬王道3戦
天皇賞・秋→ジャパンCへ。清水久調教師「残り3戦悔いのない仕上げを」。

㊾神騎乗で復活のGⅠV6
不良馬場で出遅れも、名手・武豊騎手に導かれ直線で荒れた内を突いて復活V。史上5頭目の同一年天皇賞春秋制覇。 3マス進む

㊿どんな馬場でも強い
17年天皇賞・春のレコードVに対し、天皇賞・秋は芝2000メートル戦になった84年以降で最も遅い2分8秒3で勝利。

(51)北島オーナーも「感激」
北島オーナーも復活Vに感激。「（僕が）調子が悪い時に勝って元気をくれた。神様からの贈り物」。

(52)不良馬場も不問の回復力
不良馬場を激走したダメージもなく、中間も順調。「回復は早かったです。体が強い。本当に驚かされてばかりです」と辻田厩務員。

(53)連覇ならず
マイペースで逃げたが、シュヴァルグラン、レイデオロの追い上げを許して3着。「残念。落鉄していた」と武豊騎手。 2マス戻る

(54)ラストもファン投票1位
有馬記念ファン投票最終結果は12万4641票で1位。「ありがたい。勝てていないのに勝たないと」と清水久調教師。

(55)勝てば歴代賞金王に
勝てば賞金3億円が加算。テイエムオペラオーの18億3518万9000円を抜いて獲得賞金歴代1位（全て当時）。

(56)引退式は18年1月7日
12月14日、翌年1月7日に京都競馬場で引退式を行うと発表。「僕のスーパーヒーロー」と担当の辻田厩務員。

(57)有馬有終Vなら3年ぶり
有馬記念で有終の美を飾ることになれば、14年ジェンティルドンナ以来3年ぶり。

(58)有馬記念1週前追い切り
黒岩騎手を背に栗東CWで併せ馬。清水久調教師「寂しさもあるけど、あまり最後と考えないように」。

(59)ラストも熱唱約束
北島オーナーが本紙インタビューで「ファンが望めば、着順関係なく感謝の気持ちで歌う」と力強く約束。

(60)最後もハードトレ
最終追いも黒岩騎手騎乗。同じ中3週のジャパンC前は2本だった追い切りを4本に。「悔いのない仕上げ」と清水久調教師。

(61)名手も武者震い
有馬記念共同会見で武豊騎手は「1年に6度のGⅠを主役として走るのは簡単ではない。最後は勝たせたい」と必勝宣言。

(62)"神の手"再び
枠順公開抽選会で6番目に登場した武豊騎手が再び内枠の❶枠②番をゲット。「一番欲しかった。引退の花道飾りたい」。

(63)レース前最後の栗東調整
金曜朝、坂路を駆け上がり、CWでキャンター後にゲートの駐立確認。清水久調教師「やれることはやった」。 2マス進む

(64)前日輸送で中山到着
スムーズに到着も出張馬房近くで他馬が放馬。辻田厩務員は「馬は気にしていなかった。僕ガ動揺しただけ」と苦笑い。

(65)"必勝メシ"を差し入れ
北島オーナーガ長年座長公演を行った劇場近くのとんかつ屋さんの「ブラック勝つ弁当」を大量に差し入れ。

(66)キャリア3度目
有馬記念は3年連続3回目の参戦。キャリア3度目の単勝1倍台となる1.9倍の1番人気に支持される。

(67)黒岩騎手も現地観戦
調教に騎乗した黒岩騎手も現地観戦。「吐くほど緊張しました。いい経験をさせてもらい、引き出しを増やせました」と感謝。

(68)有馬記念初V&有終V
自分のリズムで逃げて2着クイーンズリング、3着シュヴァルグランを退け、3度目の正直でグランプリ初制覇&有終V。

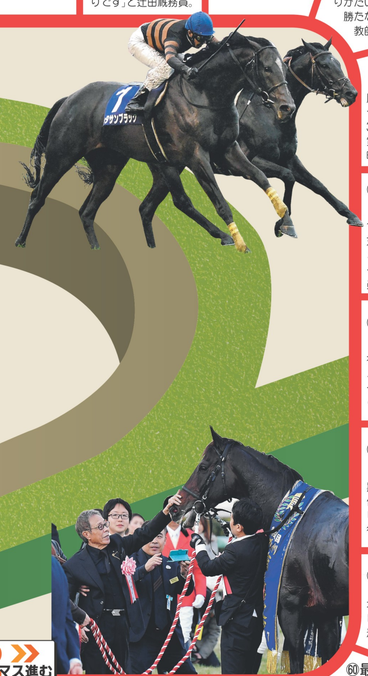
(69)残った5万人のファンに北島オーナーが「ありがとうキタサンブラック」を初披露。武豊騎手とともに「まつり」も歌う。

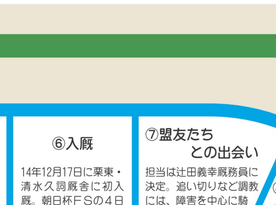
▲レース動画はコチラから

HERO IS COMING.

有馬記念

12.22 SUN 中山競馬場 15:40発走





70th ANNIVERSARY HERO IS COMING. 有馬記念 12.22 SUN 中山競馬場 15:40発走

有馬記念当日の中山競馬場は事前にインターネットで指定席券または入場券を予約・購入されたお客様に限りご入場いただけます。

有馬記念特設サイト 当日の各種情報は、有馬記念特設サイトでご確認ください。

馬券は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び。馬券は正規の窓口で。